
畔道

山野水雛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

畔道

【ZINEアート】

Z2666M

【作者名】

山野水籬

【あらすじ】

水籬の初投稿作品。

一本の畔道を舞台に、少年少女の微弱な気持ちの変化を書きました。

八月の下旬、蝉が申し訳なさそうに残りの命を燃やす午後。

ゆうべつと畔道を歩きながら、真梨は顔をしかめた。

さつきまでの大雨にもそしらぬ顔で、空は胸を張つて白黒の青を見せつける。

制服の裾を乾かす素振りではためかせて、真梨はより一層眉間にしわを寄せた。

「真梨ー、おいつ真梨ー。」

聞きなれた声に振り向くと、ぬかるんだ道をひょこひょこと駆ける影が見えた。

「弘太… そんなに走ると転ぶよ?」

弘太は真梨に追いつくと、人なつっこに笑顔でへへ、と笑った。

「雨が凄かつたからや、走つて家まで帰るとしてたんだ。途中で止んだけど、真梨が居なかつたら家まで走り切つてたぜ?」

学校の一部の生徒は、この一直線の畔道を通学路にしている。

いつもならひらひら制服が見えるのだが、今日はただ緑と茶のレー

ルが続いているだけだ。

弘太を軽く見やつてから、真梨は相変わらずの仏頂面で帰路へ足を向けた。

弘太も真梨の後ろを歩く。

「機嫌わりーな。」

「……うん、悪い。」

大方、不機嫌の原因が分かつた弘太は、ただ「暑い」と漏らした。

少し先の方から聞こえてくる一いつの足音に顔を上げた真梨は、見なければ良かつたと後悔した。

後ろからその姿を確認した弘太も、内心舌打ちした。

男女が一人でこちらに歩いて来る。少年の方は紛れもなく、この夏とうとう真梨の手が届かなかつた藤野だ。

藤野は、二人に気付いて軽く手を挙げた。

「よお、弘太。柏野と駆け落ちか？」

「お前に言われたくねーよ。」

弘太が苦笑で切り返しながら、四人はすれ違った。

畔道は細く、狭い。四人の息が混ざる。

藤野は少女に何気なく手を差し出す。少女は片方の手で藤野の手を握り、もう片方で藤野の服の裾をつまむ。そうしながら、ゆっくりとすり抜けを行った。

真梨は地面を踏みしめて歩いた。耳でしつかり藤野の息遣いを思い出しながら。

滑つて田の中に落ちそうになるまで、藤野の息遣いを思い出していた。

「うわっ！」

藤野の前で、気丈に土を踏んでいた自分を恥じながら、地球の重力の存在を感じた。

弘太が懸命に抱き上げたお陰で、大惨事にならずに済んだが。

「泥まみれになつたらどうするつもりだつたんだよ。」

弘太は笑いながら真梨を道にひょいと戻した。

「…知らない…」

顔を少し桃色にして、真梨はふいつと前を向いてしまった。

「何じつとしてるんだよ。ほら、帰るぞ。」

いつまでたつても前進しない真梨の背中を、弘太は両手で押した。
暫くふざけながら帰っていたが、ふと弘太は、真梨の背中を見た。
この前まで大して差はなかつた背丈が、今は弘太より頭一つ分小さい。

まだ乾ききっていない制服からは、下着が透けている。

思わず目を逸らしたが、真梨の温もりをまだ離したくは無く、背中を押し続けた。

真梨もまた、背中を押す手が心地良か感じて、笑つた。

一陣の風が、真梨たちを追い越して吹き抜けた。

秋の匂いがした。

(後書き)

初投稿作品ですー。どうだったでしょうか…？
爽やかな雰囲気を感じて頂けたら幸いです。

感想、批評などがありましたらよろしくお願ひします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2666m/>

畔道

2011年1月26日00時43分発行